

支援を深めるための

基礎研修

本研修では、支援従事者としての心構えや目標など、具体的な対人援助の方法と、住民同士の支え合いや周辺地域との連携、関係機関・団体との連携など、被災者支援の両輪である生活支援と地域支援の方法を、それぞれ講義と演習を通じて学びます。

● 会場共通

✳ 時間 9:30～16:30 定員 各会場 40人

✳ 申込締切 各会場：1週間前まで

基礎研修1 生活支援編

釜石会場 8/20 月

● 釜石地区合同庁舎

● プログラム

- 9:30～10:00 開会・あいさつ
- 10:00～16:10 「地域生活支援の理解」
「地域生活支援の基礎と実態把握の方法」
- 16:10～16:30 ふりかえり

講師 永坂 美晴 氏

兵庫県明石市社会福祉協議会 地域総合支援センター
地域支え合い推進担当係長
看護師・第一層生活支援コーディネーター

1995年の阪神淡路大震災の折、仮設住宅担当として被災者支援に従事。
当初より地区担当の望海在宅介護支援センターの職員として、地域住民と保健医療福祉のつなぎ役となり奔走。
2011年の東日本大震災発生の際、ボランティアとして被災現場支援に従事する。平成23年度より開始された宮城県被災者支援従事者研修事業・岩手県高齢者等サポート拠点職員等研修事業で講師を多く務め、現場の言葉で自身の経験を交えながら伝えることを常に心掛けている。
2018年4月より明石市の第一層生活支援コーディネーターとなる。

基礎研修2 地域支援編

釜石会場 9/6 木

● 釜石情報交流センター（釜石PIT）

● プログラム

- 9:30～10:00 開会・あいさつ
- 9:40～16:10 「住民同士の支え合い活動の理解」
「住民による見守り活動の方法と
関係機関・団体との連携」
- 16:10～16:30 ふりかえり

講師 凧 保憲 氏

淡路市社会福祉協議会 事務局長

1995年に北淡町社会福祉協議会 福祉活動専門員として入職。
阪神・淡路大震災では、震源地の社会福祉協議会職員として被災者支援に従事。近年は「集落福祉」を地域福祉活動の中心に据え、過疎集落の生活課題の改善と障がいのある人の社会参加をテーマに地域福祉活動を推進している。東日本大震災では宮城県気仙沼地区を中心に、被災地支援に従事。被災者支援・地域生活支援のための「サポーターワークブック」の執筆に携わる。



※ 上記2研修につきましては
それぞれ受講いただく事も可能です。

● お問い合わせ

主催：岩手県

実施機関：全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）研修担当まで

〒981-0932 宮城県仙台市青葉区木町16-30 シンエイ木町ビル1階

TEL:022-727-8731 FAX:022-727-8731 E-mail:kenshu@clc-japan.com

平成30年度 岩手県高齢者等サポート拠点職員等研修事業
支援を深めるための基礎研修
基礎研修1 生活支援編 / 基礎研修2 地域支援編

受講料
無料

受講申込書

参加ご希望の方は、下記の申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送にてお申し込み下さい。

申込会場	<input type="checkbox"/> 8月20日(月) 基礎研修1 生活支援編 釜石会場 <input type="checkbox"/> 9月6日(木) 基礎研修2 地域支援編 釜石会場 申し込み締切 各会場1週間前まで		
フリガナ		年齢	性別
参加者氏名			
勤務先(所属)		職種 (役職)	
資格等	※あてはまるもの全てに○を付けてください。 資格なし ・ 介護福祉士 ・ 社会福祉士 ・ 社会福祉主事 保健師 ・ 介護支援専門員 ・ 看護師 ・ ホームヘルパー__級 介護職員初任者研修 ・ 介護職員実務者研修 ・ 保育士 その他(具体的に:)		
主な業務内容	※あてはまるもの全てに○を付けてください。 安否確認 ・ イベント企画 ・ サロン運営 ・ 仮設集会所運営 住宅訪問 ・ その他(具体的に:)		
訪問先	仮設住宅 ・ 借上げ民間住宅 ・ 在宅 ・ 災害公営住宅 借上げ公営住宅 ・ その他(具体的に:)		
訪問エリア		訪問頻度	
勤務先住所	〒		
電話番号	(勤務先)	FAX番号	(勤務先)

● 今後の研修予定

研修名	開催日時	会場	講師予定
さまざまな課題を持つ人の 理解と支援	11月5日(月)	釜石会場	兵庫県明石市社会福祉協議会 地域総合支援センター 地域支え合い推進担当係長 永坂 美晴 氏

※申込確認後、事務局より「受講決定通知書」をFAXにて送付いたします。FAX番号の記入をお願いします。

↓ 送信先 FAX : 022-727-8737 ↓